



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後7：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後6：00

2023年3月号ブリテン 第386号

2022 - 2023年度主題 (Theme)

IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

To acknowledge the duty that accompanies every right
強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
「輝かそう、あなたの光を」 (デンマーク)
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 (台湾)
「未来へ向けて今すぐ行動しよう」 (甲府21)
「ワイズへの参加と交流を楽しもう」 (富士五湖)
「おしゃべりワイズ～楽しく、明るく、美しく」

Our Motto 国際標語
国際会長 ウルリック・ラウドセン
アジア太平洋会長 シェン・チ・ミン
東日本区理事 佐藤重良
あずさ部部長 後藤明久
サンライズ会長 荻 淵 光 彦

会長 荻 淵 光 彦
副会長 長 津 徹
書記 御園生 好 子
会計 柴 田 弘 子
直前会長 小 山 憲 彦
担当主事 大 津 桃 子

3月第一例会のお知らせ

と き 3月9日(木曜日) 18:30~
と ころ 東京YMCA山手センター
か い ひ なし
とうばん (弐細)柴田、江原、小山(憲)、河野、中村、深田

◆プログラム

開会点鐘	会 長
ワイズソング・ワイズの信条	一 同
ゲスト・ビジターの紹介	会 長
ハッピーバースデー	会 長
協議・報告・連絡事項	会長・各担当
にこにこ・一分間スピーチ	出席者全員
閉会点鐘	会 長

本音で語ろう会 例会の続きを“本気”で“本音”で
舎生招待懇親会 伊丹亭 21:15~

3月以降の予告

3月18日(土) 第二(お散歩)例会 JR巣鴨駅集合 12:00~
◇部長公式訪問と打ち上げ懇親会が有ります。
4月11日(火) 第二例会 山手センター 17:00~
4月22日(土)~23日(日) 山中ワーク・第一例会 13:00~
◇恒例のワークを行い、夜は来年のサンライズの活動方針、行事
予定などを話し合います。年に2度の山中です。ぜひ参加を!
5月11日(木) 第一例会 山手センター 18:00~

2月第一例会報告

大谷博愛

サンライズ2月第一例会は2月9日(木) 18時より山手センターと伊丹亭でおこなわれました。

従来2月第一例会は「山手学舎お鍋例会」を定番としてきましたが、コロナの影響で3年間は山手センターで対面での会合ができませんでした。この間、山手学舎との交流も途絶えておりました。今年になってコロナ感染の波も下火になり、十分な感染対策した上で対面での会合が許される社会情勢になってきました。とはいえ、従来の調理を伴うお鍋例会は時期尚早という判断から、教室での会合と伊丹亭での懇談会という二段構えの山手学舎との交流例会を行いました。

18時に山手センター204教室に集まり、まずは通常ワイズのオープニングセレモニーを行った後、

【次頁へ続く】



3月のハッピーバースデー

18日 長 津 徹 さん
27日 小 山 久 恵 さん

ワイズの信条

自分を愛するように隣人を愛そう
青少年のためにYMCAに尽くそう
世界的視野を持って国際親善を計ろう
義務を果たしてこそ権利が生ずることを悟ろう
会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

2月例会出席者

在籍 (内広義会員 2名)	17名
メン (Make up 2名)	12名
メネット・コメット	1名
ゲスト・ビジター	3名
出席率	80%

●2月のBF切手：2.658kg(累計：2.658kg)

●ニコニコ：0円(累計：2,063円)



舎生に自己紹介してもらいました。そして、サンライズと山手学舎の交流の歴史およびワイズメンズクラブを舎生に理解してもらうために菰淵会長自身が準備したパワーポイントを使った会長講話がありました。非常に意義のある講話でしたが、ここまでの教室での例会第一部でした。

引き続き場所を伊丹亭に移し、舎生を招待して懇親会が行われました。いつもの「本音で語ろう会」ではなく、舎生との交流を目的とした例会の第二部なので、舎生とメンバーが隣同士になるように座り、舎生の学生生活を聞くことができました。飲食を共にすると心の垣根が低くなり、舎生も本音を語ってくれました。

出席者(敬称略) 15名

<サンライズ>

菰淵会長、江原、小山(憲)、柴田、長津、御園生、大谷 7名
<舎生>

庄さん、王さん、ジョジョさん、松本さん、金さん、勝間田さん、西尾さん 7名

<ゲスト>

蒔田敏夫さん(山手学舎運営委員)

2月第二例会報告

御園生好子

2月21日(火)17:00~18:45

東京YMCA山手コミュニティセンターに於いて

出席者 飯野毅与志、江原修一、大谷博愛、小山憲彦、菰淵光彦、長津徹、御園生好子

○2月の第二例会恒例のBS切手整理を行なった。

かなりの量が集まり、菰淵光彦会長が東日本区指定の業者へ納入予定。

○次期会長、部役員研修会の出欠確認。

○部長公式訪問は3月18日(土)の3月第二例会(お散歩例会)場所は都電荒川線で飛鳥山公園とする。

○山中湖センターワークは4月22日(土)~23日(日)

ワークは担当の長津徹さんに一任する。

○ブリテン原稿担当決め。

今年は未整理の切手が多くて途中であきらめ、残りは残業と言うことで持ち帰ることにし、いつもの「本音で語ろう会」のために伊丹亭へ移動した。

トルコ・シリア大地震支援募金のお知らせ

キャビネット

東日本区では支援募金を行っています。ぜひご協力を!

あずさ部第三回「厄除け」評議会報告

長津 徹

2月11日土曜日、甲府会場10時半の受付開始時間を目指して山手線に乗り込みました。全部中央線普通列車で行くつもりが、新宿駅での乗り換えに失敗し、八王子で特急に乗り換えるはめになりました。その特急が激混み、大月で大多数下車して着席出来るまで約30分間デッキで立たされました。前日から降り積もった雪景色の眺めを楽しんで、ともかく時間内に会場のホテル談露館にたどり着きました。甲府市内は20センチの積雪。

「厄除け」は甲府市内のお寺の行事にちなんでいるとの事。残念ながら2月13日に行われるそう。

定刻の11時に開始された評議会は開会式、議事と滞りなく進み休憩の後卓話となりました。

卓話は「チャンティといづみのいのちの響きにのせて」。卓話者は甲府市内で緩和・ホスピスケアのクリニックを営む内藤いずみ氏、実は甲府クラブメンバーのピーター君(次々期部長)のメネット。伴奏者チャンティ氏(シンガーソングライター、昭和音大講師)がキーボード(エレピ)でサポートする形式で行われました。テレビ静岡で放映された内容を冊子にした物や、「塩梅ノート」なる断捨離的なノートについて語っていただきました。現物もいただきました。

その後いったん会場を出て記念写真撮影の後丸テーブルに移動しました。13時半スタートした懇親会は標メンの司会で次期部長森本さん(長野クラブ)の乾杯で始まり、評議会でしゃべり足りなかった人達のオンパレード、アピールコーナーとなりました。楽しい語らいの後は駅前の居酒屋に移り後藤部長を囲んでの宴となり、甲州名物のつまみで盛り上がりました。

小山(憲)、菰淵、長津、御園生の4名で「あずさ」に乗車、無事帰ってきました。

山中ワーク・富士五湖クラブ合同例会

山中ワーク委員会

久しぶりに大びらにのびのびと山中ワーク、富士五湖クラブとの合同第一例会をを4月22日(土)~23日(日)に行います。

例年通り、昼食を済ませて13時に山中湖センターにお集まりください。ワークに汗を流し、例会の後は何時ものように暖炉の前で語りあいましょう。お楽しみに!

山中湖センターだより

山中湖センター館長 中里 敦さん

まだまだ寒い日がありますが、一歩ずつ春が近づき、暖かさを感じることも多くなり、凍っていた湖はとけ、木々の芽も膨らみ始めています。心なしか鳥たちも賑やかになった気がします。青い空をトビが大きな翼を広げ気持ちよさそうに飛んだり、センター内でもアオゲラ、アカゲラ、コゲラ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガなど元気に飛び回る姿をよく見かけるようになりました。春間近、センターでは100年前と変わらない自然が皆さんを待っています。

何がどうなったの？ 変なソフトを入れちゃった！

小山憲彦

2月のある日、突然印刷が出来なくなりました。印刷設定をするとインクの残量表示が出なくなり、『エラー 印刷できません』と表示されるようになったのです。いろいろと試してみましたが何ともなりません。グダグダと時間が過ぎて行きプリンテンも発行できないので、メーカーに修理に出すことにしました。CANONのホームページから修理依頼をしたら翌日ヤマトが指定の時間に集荷に来て、プリンターを営業所に持ち帰り梱包してくれました。2週間ほどして戻ってきた検査結果は『異常なし。プリンターヘッドが汚れていたののでついでに交換しました』と。早速PCにつないで指示通りに設定しテスト印刷をしたところ、結果は以前のまま。メーカーに電話をしていろいろ試したところ、「スタートボタン」から「デバイスマネージャー」に入り・・・と言うところで、「しばらく前からその表示が出なくなった」と伝えたと、その操作が出来なければメーカーでも手の施しようがない。PCのメーカーに相談して、解決したらもう一度電話をくれとのこと。ところがPCのメーカーの相談窓口の電話番号がどこを探しても見つからない。Webで検索すると「会員登録しろ」、「ログインしろ」、あげくの果てに「チャット」だ「メールで相談」だとなってしまう。何度、どうやっても相談窓口の電話にたどり着かない。あきらめかけた時に、会社のホームページにたった一つだけ載っていた都内の営業所に電話。「お客様相談室」⇒「故障相談」と電話番号を教えてもらい、やっとメカの担当者を捕まえた。親切な担当者で、私のPCに入って来てくれていろいろと試してくれた。話の中で、しばらく前に誰かからのメールを開き、添付のファイルを開こうとしたら「なんじゃらZip」と言うPDFを開くソフトをダウンロードしなければ開けないと表示され、しょうがなく無料・体験版とあったのでダウンロードした。それ以降スタートボタンをクリックした時の反応が今までと違う表示になったと伝えた。最近までは「お試し期間が過ぎましたが体験版のまま使いますか」の表示が出て、それをクリックするとPDFが開いたが、最近ではソフトを購入しなければ使えなくなったので、使うのをあきらめていた。何とかならないかと尋ねたところ、アンインストールしても良いかと言うので、願ったりかなったりだと答えた。保存してあるファイルが壊れることもあるというが、バックアップしてあるし、壊れてもかまわないからやってくれと頼む。アンインストールが完了し再起動が終わったところで、何と不思議なことか、突然プリンターに残っていたテスト印刷のコマンドが作動し、印刷できたではないか。プリンターとソフトとの相性は十分に気を付けなければならないと言う教訓を再認識した。初めて(30年ほど前)使ったプリンターでも一度プリントミスが頻発したことを思い出した。ただほど高いものはない！余計なことはやってはならないと肝に銘じた。

それにしても、安易に体験版のソフトをダウンロードした私がアホなのか、後からお金を払わなければどうにもならないソフトを押し付ける会社が悪いのか。何をどうやってもその画面しか現れなくなったら、私のような未熟者はどう対応したら良いのだろうか。長〜い愚痴をこぼしました。

2023年3月7日発行

東日本区理事 佐藤重良

メンバーの皆さまは、サンライズWebサイトに保存されておりますので、そちらにアクセスしてご覧ください。

【<http://yssunrise.com/wine.html>】

部長通信、プリテンのバックナンバーもご覧いただけます。

YMCA News

山手センター 大津桃子さん

・ 山手学舎 & ワイズ交流会ありがとうございました ・
2月9日(木)山手学舎の舎生との交流会ありがとうございました。舎生たちも「最初はどんな会なのか緊張したけれど、楽しかったです」という感想が聞かれ、嬉しく思っております。当日、大津は水泳指導で顔も出せず申し訳ございませんでした。

・ ピンクシャツデー ・

2月初旬より、山手センター1階掲示板でピンクシャツデーの参加型掲示を始めました。水泳クラスの子どもたちや高等学院の生徒、来館者などが掲示物にシールを貼りながら、「お互いを認め合う」「思いやり」「仲直り」などの大切さを考える機会となりました。

・ 今後の行事 ・

*第32回チャリティーゴルフ大会 4月13日(木)

会場：PGM総成ゴルフクラブ

ご案内：<https://tokyo.ymca.or.jp/news/2023/02/202300206-1.html>

*東日本地区YMCA役員研修会 4月15日(土)

13:00~16:00 オンライン

講師：寺島実郎氏(一般財団法人日本総合研究所会長/多摩大学学長)

みなさまもご参加いただけます。

ご案内：https://drive.google.com/file/d/1Pv3YdF4v9XM4Lf_hiSbXsWC5dtSe_jH7/view?usp=share_link

お申し込み：<https://bit.ly/3HeXC4T>

*第20回会員大会 5月27日(土) 会場：山手センター

・他団体の動き・

*仙台YMCA総主事就退任式 3月19日(日)

会場：日本基督教団仙台東一番丁教会

村井伸夫氏退任 加藤雄一氏就任(4月1日付)

*埼玉YMCA創立50周年記念式典 3月21日(火)

会場：日本バプテスト浦和キリスト教会

編集後記

ワイズ創立100周年記念祝会に参加のため台湾へ行って来ました。来月号で報告しますが、今回の台湾訪問で感じたことを少しだけ。みんな、特に若い人が信じられないくらいに親切でした。ほとんど外には出歩きませんでした。どこでもすぐにサッと支えてくれる、手を貸してくれる。残念ながら日本の若者にはあまり見られない優しさでした。(Non.O)

全国リーダー研修会およびYVLF報告

東京YMCA山手コミュニティーセンター

【第53回全国リーダー研修会】

日時：2022年9月23日～25日
 会場：熊本YMCA阿蘇キャンブ
 主催：全国YMCAウエルネス担当者会
 事務局：熊本YMCA・福岡YMCA
 報告者：はむリーダー(篠原真奈さん)

全国リーダー研修会に参加し、講師の方々の対談や多くのリーダーとの関わりを通して、様々な考えを持つ人がいると感じました。自分と違う意見を持つ「初めましてのリーダー」に自分の意見をぶつけることはとても体力を使いましたが、お互い勇気を出していることが伝わり、2泊3日という短い時間で関係性が深まる感覚がありました。不断の活動は知っているリーダーとの長い関わりやメンバーとの関わりになりますが、意見をぶつけ合い、相手と真剣に向き合うことには変わりはないです。今後の活動を通して、馴れ合いではなく深い関係性を構築できるリーダーになっていければと思います。難しい話も多く、沢山の情報と感情に揉まれた研修会でしたが、人に関わることの大切さを強く感じた良い時間となりました。



【第34回全国ユースボランティア・リーダーズフォーラム】

日時：2022年9月30日～10月2日
 会場：東京YMCA山中湖センター
 主催：ワイズメンズクラブ東日本区YVLF実行委員会
 事務局：東京YMCA
 報告者：オペリーダー(丸山啓太さん)

今回、東日本地区のワイズメンズクラブのみなさんのご協力のもとユースボランティア・リーダーズフォーラムに参加し、2泊3日という短い期間ではありましたが、僕にとってものすごく多くの刺激があり、ボランティアリーダーとしてのモチベーションがより高まるきっかけとなりました。普段は東京YMCAの同志との関わりとなりますが、今回のフォーラムで東日本地区のYMCAのリーダーと関わり話したことで、様々な気づきを得る事ができました。僕がこのフォーラムで得られた1番の気づきは「考える過程が大事」ということです。僕は日々の活動の中で、何か答えを出すことがもっとも良いと感じていましたが、考える過程が大事だと気づきました。他にも基調講演のお話では「能力や有用感に縛られない、つい意味を考えがちだが、あなたが隣にすることが大事」という言葉に心動かされました。今後、リーダーとして可能な限り多くの経験を積みたいと感じました。このような機会を頂きましたこととても感謝しています。ありがとうございました。

